



# PRESS RELEASE

株式会社バンダイ

2013年8月8日

## バンダイこどもアンケートレポート Vol.211

### 「夏休みの宿題に関する意識調査」結果

TOPIC①: 自由研究のテーマ、親のアドバイスを参考にする子どもが半数以上。

今と昔を比較すると父親の関与が上昇傾向。

TOPIC②: 好きな宿題、苦手な宿題、共に算数・国語がランクイン！

男女で好き嫌いが分かれる傾向に。

TOPIC③: 宿題の量、子どもは「多いと思う」一方、親は「適切～少ない」という声。

TOPIC④: 今年の夏休みの宿題は、「中頃までに終わらせたい人」が7割以上。

総括 : バンダイからのコメント

株式会社バンダイ(本社:東京都台東区、代表取締役社長:上野和典)は、小学生(6~12歳)のお子さまの保護者の方 840 人を対象に、「夏休みの宿題に関する意識調査」を実施いたしました。調査結果を以下の通り発表いたします。(実査期間:2013年7月25日~28日)

**TOPIC①: 自由研究のテーマ、親のアドバイスを参考にする子どもが半数以上。**

**今と昔を比較すると父親の関与が上昇傾向。**

#### 【自由研究の情報源について】

子どもの自由研究の情報源について			親世代が小学生の頃に利用した情報源		
1位	母親のアドバイス	34.9%	1位	母親のアドバイス	26.5%
2位	父親のアドバイス	13.9%	2位	本(図鑑など)	13.9%
3位	本(図鑑など)	7.0%	3位	父親のアドバイス	10.1%

夏休みの宿題の恒例である自由研究について、子どもが実施する際の情報源を聞いたところ、最も多かったのは、「母親のアドバイス」という結果になり、2位の「父親のアドバイス」と合わせて約半数の子どもが親のアドバイスを参考に自由研究を決めていることが分かりました。また、親世代が小学生時代に利用した情報源についても聞いたところ、「母親のアドバイス」(26.5%)、「本(図鑑など)」(13.9%)、「父親のアドバイス」(10.1%)の3つが上位ランクインしました。今と昔を比較すると、親の関与度が上昇傾向にあるようです。また、「父親のアドバイス」は親世代では3位だったのが、現在の子どもでは2位にランクインしポイントも上昇していることから、子どもの教育・育児に関心を持ち積極的に関与する父親が増えていることが、この結果からうかがえます。

## TOPIC②: 好きな宿題、苦手な宿題、共に算数と国語がランクイン!

男児は「算数好き・国語嫌い」、女児は「国語好き・算数嫌い」な傾向が明らかに。

### 【好き・得意な宿題、嫌い・苦手な宿題ランキング】

子どもが好きな宿題			子どもが嫌いな宿題		
1位	算数のドリル・プリント	33.0%	1位	読書感想文	27.0%
2位	国語(漢字)のドリル・プリント	16.4%	2位	算数のドリル・プリント	19.8%
3位	運動(プール教室など)	12.5%	3位	国語(漢字)のドリル・プリント	16.0%

実際に出される宿題の中で、好き(得意)嫌い(苦手)について質問をしたところ、好き・嫌い共に算数と国語のドリル・プリントがランクインする結果となりました。

中でも「算数の宿題が好き」と答えた子どもの64.3%が男児なのに対し、「算数の宿題が苦手」と答えた子どもの65%が女児となり、算数の宿題については男児の方が好き・得意と感じていることが分かりました。一方、国語のドリル・プリントについては、好きと答えた子どもの60%が女児なのに対し、苦手と答えた子どもの64%が男児という結果になり、国語の宿題については女児の方が好き・得意と感じていることが分かり、男女によって好き嫌いの傾向を見て取ることができます。

また、男児・女児ともに「読書感想文」については、苦手と感じているようです。加えて、ご回答いただいている親御さんたちにもご自身の小学生時代を思い出していただき同様の質問をしたところ、嫌い(苦手)な宿題の1位は、「読書感想文」(30.8%)という結果となりました。

## TOPIC③: 宿題の量、子どもは「多いと思う」一方、親は「適切～少ない」という声。

### 【宿題の量についてどう思うか】

子どもが思う、宿題の量について			親が思う、宿題の量について		
1位	適切である	42.1%	1位	適切である	51.7%
2位	多いと思う	40.2%	2位	少ないと思う	23.5%
3位	非常に多いと思う	11.2%	3位	多いと思う	16.3%
4位	少ないと思う	5.5%	4位	非常に少ないと思う	5.2%
5位	非常に少ないと思う	1.0%	5位	非常に多いと思う	3.3%

今年の夏休みの宿題の量について聞いたところ、「適切である」と感じている子どもが42.1%いる一方で、「多いと思う」、「非常に多いと思う」と回答した子どもが半数以上を占める結果となり、宿題の量が「少ないと思う」、「非常に少ないと思う」子どもはわずか6.5%に留まりました。一方、親は宿題の量について半数以上が「適切」と感じており、次いで約23%の親が「少ないと思う」と答えていることから、親子で宿題の量に関する受け止め方が全く異なることが分かりました。

**TOPIC④: 今年の夏休みの宿題は、「中頃までに終わらせたい人」が7割以上。**

**【夏休みの宿題をいつ頃までに終わらせる予定か】**

【今年】夏休みの宿題を終わらせる予定			【例年】夏休みの宿題を終わらせた時期		
1位	中頃に終わらせる	39.8%	1位	後半に終わらせた	35.9%
2位	前半に終わらせる	36.9%	2位	中頃に終わらせた	30.7%
3位	後半に終わらせる	20.7%	3位	前半に終わらせた	25.4%
4位	最終日に終わらせる	1.8%	4位	最終日に終わらせる	7.0%
5位	夏休み中に終わらない	0.4%	5位	夏休み中に終わらない	0.9%

「【今年】夏休みの宿題をいつ頃までに終わらせる予定」かを聞いたところ、「前半に終わらせる予定」が約37%、「中頃に終わらせる予定」と答えた子どもが約40%と最も多く、7割以上の子どもが「夏休みの中頃までに終わらせる予定」でいることがわかりました。一方、実際に「【例年】宿題を終わらせた時期」を聞いたところ、「中頃までに終わらせた」子どもは5割程度に留まり、「後半に終わらせた」子どもが最も多くなりました。その結果は今年の予定とのギャップがあり、夏休みの後半に宿題に追われるという例年の反省を踏まえ、なるべく前倒しで終わらせようと考えていることが推察できる結果となりました。

**【バンダイからのコメント】**

年間を通じて最も長期の休み期間である“夏休み”に誰しもが直面する“宿題”。アンケート結果からは、宿題をなるべく早く終わらせて、残りの休みを目いっぱい満喫したいという子どもたちの強い想いが感じられました。また、自由研究のテーマを決める際の情報源として、昨今のデジタルツールの普及により、「Web」という回答の比率が高くなる事が推測されましたが、「ご両親いずれかの意見を参考にしている」という回答が1番多く、過半数近い結果となりました。その結果から、子どもの宿題に対する親の関与度の高さが見て取れると共に、夏休みの宿題を通じて親子のコミュニケーションが各家庭で繰り広げられていると考えられます。また「父親のアドバイス」が、親世代の回答と比べた際にランキング・ポイント共に上昇していました。これは、“イクメン”が実質的に増加傾向にあることがうかがえる結果だとも言えるのではないのでしょうか。

参考資料 <親が小学生時代に好きだった／嫌いだった宿題ランキング(男女別)>

1位	算数のドリル・プリント	33.6%
2位	運動(プール教室など)	20.0%
3位	自由研究	9.8%

1位	国語(漢字)のドリル・プリント	20.7%
2位	算数のドリル・プリント	20.2%
3位	絵画	9.0%

1位	読書感想文	30.2%
2位	絵画	10.7%
3位	算数のドリル・プリント	9.3%

1位	読書感想文	31.4%
2位	自由研究	14.8%
3位	算数のドリル・プリント	11.2%

■調査概要

- 【 調査目的 】 夏休みの宿題について実態を探る
- 【 調査地域 】 全国
- 【 対象者条件 】 6～12歳の子どもの両親(小学生の子どもがいる親)
- 【 調査手法 】 インターネット調査(協力:株式会社クロス・マーケティング)
- 【 実査期間 】 2013年7月25日(木)～7月28日(日)
- 【 サンプル数 】 840人
- 【 構成 】

(全体)	小学校 1年生	小学校 2年生	小学校 3年生	小学校 4年生	小学校 5年生	小学校 6年生
男子	70人	70人	70人	70人	70人	70人
女子	70人	70人	70人	70人	70人	70人

こどもアンケートホームページ: <http://www.bandai.co.jp/kodomo/>

バンダイホームページ: <http://www.bandai.co.jp/>